

# 巨樹との出会い

## 《1》巨樹とは？

本間 敏文

こんにちは、日頃は皆様方には大変お世話になっております。さて、宇津木様、長きに亘り「小笠原の旅シリーズ」を執筆されましてお疲れさまでした。これからは、私の好きな巨樹について語っていきたいと思いますので、しばらくの間お付き合いして頂ければ幸いです。

ところで、巨樹と言っても、それなあに！と思つていらっしゃるかと思います。それでは、巨樹とは何なのでしょうか？皆さんの巨樹に対するイメージは「大きな木ですね！」‥それで結構です。巨樹とは、極めて大きい樹木のことですが、巨木、大樹などとも呼ばれています。

ただ、大きな樹木と言っても、どの程度のレベルか決めないと話が進みませんので、取り合えず、巨樹の定義につきまして紹介します。

1988年、環境省（当時は環境庁）では、国民と歴史的時間を共有する悠久の象徴である巨樹について、子孫に引き継ぐストックとして自然環境保全施策に盛り込み、自然環境保全基礎調査の一環として巨樹の調査が開始されることになり、この時、調査基準として巨樹とは「地上から130cmの位置での幹周りが3m以上の樹木」としました。従いまして、樹齢が何年とか、樹高が何mとか関係なく、単純に幹周りの大きさで決めました。

然しながら樹種によっては、成長状態が異なるため、幹周りが3m以下でも、一部の樹種については巨樹の仲間に入れることになりました。

環境省では1988年から全国にて巨樹の調査を始めており、現在では、約7万本の巨樹が登録されております。

ところで、巨樹の本数が多い都道府県はどこだと思いますか？何と東京都です。次いで茨城県、千葉県の順となっています。東京都が1位とは以外に感じるかもしれません、都内の寺社、植物園、公園にも巨樹は沢山あり、また奥多摩地区、伊豆七島にも巨樹は多いです。何と新宿御苑内には、300本以上の巨樹があります。

さて、次回は志木市内の巨樹を観て行きたいと思います。



蒲生の大クス（日本一の巨樹）

◇最近のエコシティ志木は、いろいろなことに意欲的に取り組んでおります。活動の様子は、ブログにも掲載しておりますので、併せてご覧ください。95号からは、会員のご紹介をさせていただくことにしました。また、当ページにて、本間 敏文副代表による新シリーズ「巨樹」が始まりました。お楽しみください。（青木 明雄）

エコシティ志木通信

第95号 2019年9月1日

〈発行〉

NPO法人 エコシティ志木

〒353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108

電話/FAX 048-471-1338 (天田眞)

URL <http://kappa-no.net/eco-shiki/>

E-mail [eco-shiki@ff.e-mansion.com](mailto:eco-shiki@ff.e-mansion.com)